学校だより第１１号

稲浜通信

千葉市立稲浜中学校
千葉市美浜区稲毛海岸２－３－３
TEL　０４３－２４７－８５００
令和元年１２月２５日発行

体験に勝る勉強は無し

校長　川﨑　康範

「塩の辛さ、砂糖の甘さは学問では理解できない。だが、なめてみればすぐ分かる」
大切なことはとにかくやってみること。　松下幸之助（松下電器＝現パナソニック創業者）

稲浜中学校では、１１月から 12 月にかけて多くの体験活動や講演会を実施いたしました。特に感心したのは、生徒のみなさんが常に説明や演奏に真剣に耳を傾け、体験活動に熱心に取り組んでいた事です。どんな時も一生懸命に取り組む姿勢は、誰にでも認めてもらえるということです。

令和元年がもうじき終わります。いろいろな意味で記憶に残る年となったのではないでしょうか。今年、積み重ねた経験は生徒達をこれから成長させてくれると共に稲浜中学校を発展させてくれるように思います。いよいよ、令和２年は、東京オリンピック・パラリンピック２０２０が開催されます。皆さんにとって飛躍の年になるように願っています。良いお年をお迎えください。

音楽体験教室（邦楽鑑賞会）　11 月 22 日（金）　全校生徒

「ワークショップで教えてもらって」　１年Ａ組　S.S さん

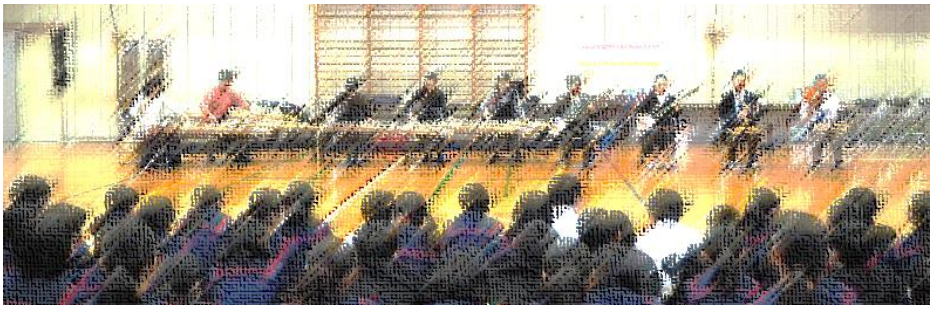
今まで、生田流の角つめで授業を受けていたけれど、初めて山田流の丸づめを使うことが出来た。角づめとは違い、ボールを持つ感じと教えてもらい、上手に弾くことができた。指導していただいた方にも褒められたので特にうれしかった。プロの先生にいろんなことを教えてもらうことが出来たので、とても貴重な体験をすることができて良かった。

「ワークショップで教えてもらって」　２年Ａ組　N.T さん

授業中にやっていて、「六段の調」の最初の方は出来ていると思っていたけど、実際に教わると違うところがあることに気付き、直すことが出来ました。また、弾いた後の指のおき方を教えてもらい音をしっかりと出すことが出来るようになったので良かったです。

「邦画鑑賞会を終えて」　３年Ａ組　S.K さん

今回、本学鑑賞会を通して、授業で弾いた曲とは大きくレベルが違う合唱を聴き、とても感動しました。初めの「六段の調べ」では、前学期のリズムがとてもよく合っていて、聴き入りました。箏では、自分がうまく出来なかった押手の奏法がとても綺麗で、強弱もしっかりと付いていたので、すごいと思いました。三味線も、授業で体験できる機会がありましたが、あれほどの迫力のある演奏を聴いたのが初めてだったので、もっと関心を持つことが出来ました。尺八は、５つしか穴がないのにも関わらず、指の組み合わせや頭の角度により音が変わり、小鼓では、左手の抑え具合によってさまざまな音が出せることを知って面白いと思いました。普段聴くことが出来ない邦楽を生で聴くことが出来てとても良い経験になりました。



美浜区中学校生徒会情報交換会（福祉協議会美浜区事務所）11 月 26 日（火）　生徒会本部役員代表

「新しい事への挑戦」　　生徒会長　　２年Ａ組　M.K さん

情報交換会に参加するのは２回目でしたが、前回より積極的に参加できて、良い話し合いをすることが出来ました。そして、稲浜中の良いところをアピールしてきました。話し合いをする上で中央委員会を専門委員会の前に行うという意外な意見もありました。今後の活動では、伝統を引き継ぐだけではなく、新しい事にも挑戦していきたいと思います。

「交換会から、より良い稲浜中へ」　　生徒会副会長　２年Ｂ組　S.Y さん

情報交換会は、いろいろな学校の生徒会役員が集まり、各学校で行っている「よりよい学校を作る企画」や長所などについて情報交換をする場です。今回、稲浜中学校代表として会に参加して、僕は給食キングや授業王などの企画を稲浜中の長所として紹介してきました。他校からは、稲浜中を創っていくアドバイスをもらいました。学校の代表として、他校の良い点は積極的に取り入れ、稲浜中の活性化につなげていきたいと思います。

「他校との交流会 ～生徒会活性化に向け～」　生徒会副会長　１年Ａ組　S.M さん

私は今回の情報交換会で他校についてたくさん学ぶことが出来ました。「自慢大会」では、稲浜中にしかない活動をたくさん紹介することが出来ました。また、私達の学校にはない企画や活動を知ることが出来ました。この経験を生かしていきたいです。

障害者アスリート学校訪問　11 月 29 日（金）　2 年生

「２０２０　東京オリンピック・パラリンピックに向けて」　２年Ａ組　Y.K さん

今回、私が障害者アスリート訪問教室に参加して、私は車いすバスケットボール用の車椅子でリレーをするチームでした。でも、背もたれや車輪が特殊で普通の車椅子とは違っていたので、絶対に出来ないと思いましたが、乗ってみると普通の車椅子よりも速度も出て、しっかり乗ることが出来てとても楽しい体験になりました。車いすバスケットボールは、アスリートの方達がやっているのを見て迫力もあり驚きました。今回、私がこの体験に参加して、参加する前は障害者のやるスポーツは、つまらないものだと思っていましたが、観ていても面白く、やっても楽しいとても魅力のあるものだということが分かりました。

千葉市トップスポーツふれあい交流事業　12 月 4 日（水）　1 年生

「大きな夢は小さなことから」　１年Ｂ組　N.H さん

僕がトップスポーツふれあい授業で学んだ事は、「走るホームの大切さ」と「時間の大切さ」です。一つ目の「フォームの大切さ」は、僕は背中が丸くなっていて徒競走ではいつも最下位でした。ですが、今回、選手たちに教わったことを意識して走るといつもより体が軽く、タイムも早くなりました。二つ目の「時間の大切さ」は、選手が最後に「大きな夢は小さなことの積み重ねだよ。」と教えてくれました。僕も努力してオリンピック出場を勝ち取った選手みたいに何回も努力を積み重ねて、大きな夢に近づけるように、今ある時間を大切にして中学校生活を送りたいです。

薬物乱用防止教室　12 月 10 日（火）　3 年生

千葉県警察少年センターより現職の警察官、少年補導専門員の２名の方が来校し、薬物乱用防止の講演をしていただきました。時期を同じくして女優の沢尻エリカ容疑者が１１月に合成麻薬MDMAを自宅に所持していたとして逮捕された事件がニュースとなっている時でもありました。県警少年センターの方からは、薬物は一度でも使用したら「乱用」であり、依存性があるためにやめられなくなってしまう事、つかえば幻覚、妄想が現れ、自分を傷つけたり、殺人などの重大犯罪を引き起こすようになってしまう事、薬物を入手するための金欲しさに無理な借金や恐喝事件、窃盗事件を起こすようになる事などの話を聞きました。後半には、実際に薬物を乱用している人が交通事故を起こし、口から泡を吹いて警察に逮捕される場面のＤＶＤを視聴しました。現場の悲惨さが生徒達にも伝わったのではないでしょうか。薬物乱用は、**「ダメ。ゼッタイ」**です。